



国際語科 校内スピーチコンテスト開催!(11月30日)

本年度のスピーチコンテストは200人以上の来場者があり、盛大に開催されました。外部からお招きした大学の先生などの3名の審査員を前に、13名の発表生徒は緊張して臨みましたが、どれも内容の濃い生徒の模範となるスピーチでした。発表を聴く生徒もすべての発表を熱心に聴き、生徒賞を選びました。



優勝 ○○○○(2A)
This is our generation!



2位 ○○○○(2A)
Non-Verbal Communication Makes Good Relationships



3位 ○○○○(2A)
Living in the Here and Now



生徒賞 ○○○○(2A)
Now or Never



特別賞 ○○○○(2A)
Are You Bunkei or Rikei?



流ちょうな英語で司会進行が行われました。



一人一人の発表を真剣に聴いて審査する生徒たち!



ジャッジをしてくださった3人の先生方、ありがとうございました!

Oh boy! What a close contest it was! If the first year students had spent more time practicing, we couldn't have been able to finish the competition on that day. I felt so sorry for those three judges this year because all the contestants made great speeches! This may sound odd but if you figure out what the judges' duties are all about, you'll know what I really mean! I'm also proud of your great achievements in the outside contests this year. I hope more of you will be a pain in the neck for the judges next year!

Atsuo Yamaguchi



13人の発表者勢ぞろい。おつかれさま!



150人以上の来場者の中で隼人生は9名(生徒会2名を含む)参加しました。

明治学院大学シンポジウムに参加しました(12月1日 明治学院大学白金キャンパス)

国際語科7名の生徒が「震災後の社会をどのように生きるか」というシンポジウムに参加しました。当日は専門家、大学の先生方からのお話や、被災地である大槌高校、鹿島学園釜石高校の生徒を交えてのディスカッションの時間もあり、震災後2年以上過ぎたこれからの日本のあり方についてみんなで考えました。



全体の場で緊張の発表!



グループディスカッション



釜石の高校生と友だちに



担当の前山さん(左) 渡邊さん(右)

手紙と一緒にプレゼントも!



JUNKO Association来校(12月4日) この団体は、ミャンマーとの文通の橋渡しを行ってくださっている明治学院大学の学生NGOです。この日はミャンマーからの返信を受け取るだけでなく、現地で撮った文通相手が登場するビデオレターの放映もありました。またミャンマーのお正月を紹介していただいたので、後日ペンパル相手への年賀状を作ってJUNKOのみなさんに持って行ってもらう予定です。

← キーホルダーのプレゼント!